

県内水道のあり方に関するアンケート調査項目（素案）

安全・良質な水が飲めるように

水源・水質管理の必要性について

- (1) 水質検査箇所数
- (2) 鉛製給水管の使用箇所数
- (3) 塩素臭・カビ臭の程度
- (4) 水質管理の今後の強化の必要性の認識・理由
- (5) 水源保全のための流域的な協力の必要性の認識・理由

水源が確保され震災等の危機時においても水が安定して供給されるように

危機管理対策の必要性について

- (1) 管路の耐震対応の割合
- (2) 浄水施設や配水施設の耐震対策の実施度
- (3) 給水車の配備状況
- (4) 設備の点検の頻度
- (5) 管路の点検の頻度
- (6) 危機管理に対応した施設の整備や体制強化の必要性の認識・課題

将来も安定した経営が持続できるように

1 経営状況について

- (1) 収益性：営業収支比率、給水収益に対する職員給与費や減価償却費の割合
- (2) 健全性：累積欠損比率、料金回収率、自己資本構成比率、料金未納率
- (3) 生産性：職員一人あたり給水収益、有収率、施設利用率
- (4) 過去の施設への投資額
- (5) 現状の経営（財政）状況についての認識
- (6) 今後の経営（財政）状況についての見通し・その対策

2 施設更新・施設の高度化について

- (1) 漏水率
- (2) ダクタイル鋳鉄管や鋼管の割合
- (3) 更新が必要な管路の更新状況
- (4) 更新が必要な浄水施設の更新状況
- (5) 今後10年程度の施設の大規模更新の必要性・課題の認識
- (6) 今後10年程度の高度処理施設の追加・改良の必要性・課題の認識

3 技術者の確保の必要性について

- (1) 職員の年齢構成
- (2) 技術者の経験年数の状況
- (3) 技術職員の占める割合
- (4) 技術研修の実施状況
- (5) 技術者数や技術者の能力に対する認識・今後の対策
- (6) 水道法に基づく第三者委託により期待される効果・問題点